

MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT

関西より発信!

No. 247
【発行・編集】
MASUKI 情報デスク
増木直美
大阪府豊中市上新田2-6-25-113
TEL 090-3710-4815
FAX 06-6835-0974
http://mid.parfe.jp/
mid@jewel.ocn.ne.jp

● 祝祭日には国旗を掲げましょう・卒業式には「仰げば尊し」を!

十二の激オコおぼちゃん



日本人は忘れたらあか
ん。ソ連軍の強姦、殺
戮、暴行、強奪の数々。
降伏した後の話なんやで
2022. 04. 14

念のために何度も「プーチンは悪いけど」とか、「ロシアが悪いんやけど」とか言うて、それでもロシアにも言い分がある、みたいなことを言う人が、けっこう批判されてるようです。ここまで追い詰めへんかったら戦争にはなってへんかった、というのは確かにその通りやと思いますが、それでも結局、それも時間の問題やったんかも知れません。

東京、大阪他の大空襲、広島、長崎原爆は、人類史に残る大虐殺やんか、という話ですね。
日本人はつい「水に流して」しまっ
から、テレビ、新聞で、このことをあ
げつらうてる人を見たことはありません
が、ネットではもう基本認識になっ
て来ていますね。私ら日本人は大虐殺
をされたんや、と。そしてそれを言わ
せへんために、「南京虐殺」やら「従
軍慰安婦」やらのプロパガンダが戦後
のある時期から出て来たわけですね。
今日(4/14)の「宮崎正弘の国際
情勢解説」は2本配信されてました
が、通巻第7300号の(読者の声
2)の「田中、千葉さんが、『プー
チンのホロコーストへの執着』
(Andrew Joyce)という記事を紹介
してはりました。めっちゃくちゃ複雑
な話ですね、ロシア人とユダヤ人、ナ
チス、そしてホロコースト。
ドイツではホロコーストを否定した
ら捕まるし、ヒトラーの『我が闘争』
は禁書になってますからね。何か変、
と思うてその昔、今は月刊
『Tanaka』の編集長の花田紀凱さん
が雑誌『マルコポーロ』で「ナチ『ガ
ス室』はなかった。」というホロコ
スト否認の記事を掲載したところ、世
界中から非難殺到で、同誌は廃刊させ
られ、文藝春秋の社長も花田さんもク
ビになりました、と。1999年2月の
ことでした。

ところが何と、上の投稿ではさらに
と触れてはります。つまりは今まで世
界中が「ホロコースト」の物語をそれ

それに利用して、自分に有利なように
使うて来てただけやんか、という話で
すね。コナン君やないですが、「真実
は一つ!」と考える日本人には、「ム
リ!」な話です。

最初に書いたように、プーチンのお
蔭で、戦後ずっと続けられて来たイン
チキ話が、あちこちで破綻し始めるん
やろか。日本人としてはええことやと
思いますが、世界中が今「プーチン悪
魔化」に勤しんでるわけやから、さら
にまた新たなインチキ話が産まれるだ
けなんやろか。

日本人としては、きっちり残さんと
あきませんね。

そしてつい先日、とんでもニュース
が飛び出して(「ロシアは北海道の権
利有する」大物議員発言が波紋)、今
日(4/14)の国会で取り上げられ
て、一応、林芳正外相は一蹴したとか
(「ロシアは北海道に全ての権利」ロ
シア議員の発信を林外相「根拠ない」
と一蹴)。

もう何だか毎日書いてますが、日本
もさっさと核武装して、憲法改正で自
衛隊を軍隊にする、防衛予算は大幅
増、とせなあかん、と。そしてもし
日、安倍ちゃんがきっちり言うてまし
たね(安倍元首相、防衛予算のための
国債発行の必要性に言及)。どうせ売
国奴の財務省が「財源がー」とか「フ
ライマリーバランスがー」とか言いそ
うですからね。

今はもう、世界中が戦争中なんや、
と認識せなあきませんね。

<https://naniwakawaraban.jp/>

議会質問、議員、自治体等の報告

蓮坊公爾「熟読玩味」

議員活動を振り返って
必要なことは「備えと訓練」元町田市議会議員 大西直也
2022.03.30 やまと新聞より

議員を長く務めるのは、本当に大変である。「議員は落ちたら只の人」とは良く言われるが町田市議会で8期(32年)を務めたのが今回の主人公・大西直也氏である。

自治体議員を長く務めると、多くの議員はステップアップを図る。都議会、県議会、国会などの議員を目指すのが王道とされるが、大西氏は終始一貫市議会議員一筋を通した。

町田市の顔といっても良い議員であるが、今回は後進に道を譲る為潔く勇退した。

東京都町田市、約43万人が住む衛星都市であり、小田急線と国が交わる地の利もあり、数多くの小説の舞台ともなっている。

大西氏は国士館・早稲田・慶応と三つの大学

を卒業

し、中で

も早稲田

は現役議

員として

初の卒業

生となる



などの移植の経歴をもち、警視庁から建設関係、そして議員という道を行ってきた。日本の未来をつくる為には大仰な言葉は必要ない、「備えと訓練」が最終的に国を護る、という信条を通した議員生活であった。お疲れ様の言葉と同時に、大西氏の心情を汲む議員が一人でも増えることを祈りたい。

その中で培ったのが「備えあれば憂いなし、備えて訓練することが、最終的に国の安全を守る」という断固たる姿勢であった。その中でのエピソードを紹介する。

町田市議会に謝罪をさせる

ある議会で、大西氏は「間違いに刃物」という言葉を使用した。おりしも傍聴人の中に身障者がいたことから大騒ぎになった。

「大西は暴言議員だ！ 糾弾しろ、謝れ！」

大西氏は反論した。

「日本語でこの言葉を使つてはいけない。日常で使われる日本語を使つて何が悪いのか」

紛糾に紛糾を重ね、大西氏は文部省を

はじめとし、法律の隅々に至るまで、

言葉を調べつくした。その間9か月を

要したが、結局、最終的に議会が大西

氏に謝罪することで決着をした。この

エピソードは、今に通じる大事な問題を含んでいる。

【新刊紹介】4-13

『待ってたぞ！美術館』中之島芸術文化協議会編、澤標・本体1500円。

大林剛郎考える会代表世話人は、都市再生のチャプターは、文化なる媒体により構成され育まれると述べて居る。「考える会」を発足させたとき「350人が賛同してくれたぞうだ。そして四十年後、芸術を育てるへ芽の開花」が誕生した。

オアシスなる「美術館」が、都市文化の担い手となって、知的好奇心と民度の向上をもたらす事を期待致す…。

私自身(デザイナー・文藝評論家として)エスカルチャーセンター、個人に「絵の手ほどき」を行ったが、「画は苦手」よく解らぬ一庶民に縁遠いと、興味を示さぬ輩は多い。

こうした施設の誕生にて「文化概念の構築」の骨格が出来上がれば喜ばしい。中之島美術館開館(本年二月・作品六千点、特に佐伯祐三やモディリアニ作品が見所である)。

当館への慧眼は、本書の対談・開館に寄せて及び座談会にて知り得る。

學者・文化人、ジャーナリスト一耽美

を愛する国民一熱き思いは、すべから

く「文化都市・大阪」への道標「伝統

や歴史から学び、現代から未来へと

「文化を繋ぐ」(堀木エリ子・工芸作

家と話す。其れは大阪に留まらず、日本の知的水準を高める結果になる。

【新刊紹介】4-13

『武藤治太の「思うまゝ」』新風書房・本体1500円。

日々混迷を深める国際情勢の中、日本の舵取りを如何に成すか…。我が国の道標を啓示したのが、貴書である。

故に、「自衛権」「原子力開発」「日本共産党」「日本芸術会議」等の問題点にメスを入れた。「これ等に留まらず、「アメリカの全貌」「ゾルゲ事件」の解明。菊池寛の芥川・直木賞への見解一文化的諸問題に迄及ぶ。

先日、共産党宣伝力一にて、第九条が無くなれば「日本は戦争をする国になる」と吠えて居た。岸田首相がプーチン大統領の暴挙を真似、韓国や北朝鮮に戦いを挑むとも言いたいのか…。

こうした発想それ自体が異常、此れを「空想的平和主義」と呼ぶ。

武藤氏は、(日本共産党の素顔)を世に問う。戦力・交戦権否定の国民を守る放棄を斬る。

少数民族を抹殺する中国の現状を批判致す米国だが、先住民インディアンを殺害したり、ハワイ併合(革命)した過去の狂気を語る。ハワイのカメハメハ王朝は、日本の協力を嘆願した。然し、明治期の我が国の力量不足にて不可能であり、甚だ残念だ。

「思うまま」に披露する武藤氏の憂國の言霊は、正に(金言)であり、真つ当な日本人への警醒の助言でもある。

小石原健介「世界から見た日本」

南アの思い出

4-4

私は南アに約四年間住んでいただけに、そのように強く感じるのかもしれないが、人間の生活のベースは何といっても住居です。のこの社ではフラント建設で働く人々家族のために三千戸建住居を新築提供しました。

敷地はそれぞれの百坪しかも、この住宅建設の担当はファンバイク副所長一人です。如何に仕事の効率・合理化進んでいたかです。彼は後にのこの社の社長を務めた人物です。おそらく日本のキャリアの10倍いや100倍の仕事をしたかと思えます。

日本はこんな国にはとても歯が立たないと実感していました。やはり日本人は『井の中の蛙大海を知らず』です。日本人に言えば、よく国情が違うなどいろいろと出来ない理屈を並べるだけで、やり方の本質を見ない。人間が背水の陣で生きているから出来るのです。

また国防については最新の近代兵器で装備され、軍隊は近隣のすべてのアフリカ諸国が攻めてきても負けない軍事力を保有していると言われている。半世紀前の思い出です。

失われゆく文化遺産

3-31

戦後の日本は世界に誇った日本人の高い精神文化が失われ、全て価値判断が金銭至上主義に変わってしまった。

加古川の井上邸も家内の祖母が百一歳まで一人で家を守っていました。二十五年前に他界し、その時一人息子の義父が行政で文化遺産として保存して欲しいと考えて加古川市に寄贈を申し込みました。市の判断は維持管理に金がかかる理由で寄贈を断られた経緯があります。ご存知のようにヨーロッパでは古い文化遺産が大切に保存され今日でも現役として利用されています。私がしばらく住んでいたフランスのカレー市役所は築六百年の実に立派な建物が現役で使われていました。日本人は文化遺産を簡単に取り壊し金に換えてしまふ。私は子供の頃から阪急六甲の近くに住んでいましたが、子供の頃には住吉川や芦屋川すじには大きな邸宅が建ち並んでいました。現在は当時の邸宅はすべて小さなマンションに。昔の風情は失われています。

◎国防予算

3-23

今朝の朝刊には新年度予算最大10%

兆円予算成立と報じられている。新型コロナウイルス対応予備費に今年度と同じ額の兆円を計上した。ちなみに今年度の防衛省予算は兆円、707億円である。また、ロシア外務省は北方領土問題を含む日本との平和条約交渉について『現状では交渉を継続する意思はない』と声明を出した。これに対し岸田首相は予算委員会ですべての対応は極めて不当で断じて受け入れられない』と述べている。ウクライナ侵略でも分かるように外交問題はその国の力以外の何物でもないことを日本政府は未だに理解できないでいる。

日露戦争ではロシアの日本への南進を防ぐため日本政府は富国強兵策をとり当時の国防予算はGDPの約3割を充てたと記録に残っている。しかも日本軍の司令官、将兵に至るまで武士道精神を持つ世界最強の軍部が対ロシア戦争に立ち向かった。現在日本を取り巻く環境は虎視眈々と狙う中国やロシアの強国から侮られ、国家存亡の危機にある。

国防予算とコロナ対応予備費とがあまり変わらないとは、驚くほかない。岸田政府も国民も一刻も早く平和ボケから覚醒し、国防に備え、歴史を学ばねばならない。

幸福度ランキング

3-21

一昨日、国連が発表した今年の世界幸福度ランキングの結果、日本は54位

だった。146の国や地域の中で日本の順位は昨年より二つ上がったものの先進国では最低レベルでした。この評価は各国の人に自分の幸福度を評価してもらい、加えてGDP、社会的支援、健康寿命、人生を選択する自由度、腐敗、汚職等の要素を元に総合評価をして過去6年間の平均値で決定される。上位は例年通り、欧州諸国。アジアでの上位は台湾省24位、シンガポール28位など。日本は欧米に比べて自己評価が低いとされる、つまり自分の国に誇りを持っていない、さらに倫理道徳観の劣化が大きく影響していると思われる。

現役時代に海外出張から帰国して大阪空港からタクシーで帰る時にいつも感じたことは、先進国でも治安が悪く油断も隙も無い、これに比べると日本は何と有難い国かと良く感じたものでした。こんな国は世界でも珍しい、何時もその中で生活をしている日本人にはこの国の有難さを良く知らない。

今回このランキングを見て改めて日本も変わったと思いました。この低迷している要因の一つに幸福度についての自己評価が低いと言われている、見方を変えると国に対する誇りを失ってきている。さらに倫理道徳観の劣化により、放火殺人の凶悪、犯罪をはじめ、オレオレ詐欺に代表される老人や弱者を狙った詐欺事件、少年による凶悪犯罪、社会の腐敗汚職事件など枚挙に暇がない。果たして私たちはこの幸福度ランキングを見てどのように感じられるでしょうか。

杉田謙一の歴史、時事研究

「草莽の記」より

<https://blazarakuten.co.jp/seimeisugita>

※R3-12-25に編集・製作ついでま。

国際テロ国家ロシアの野望は収まるところがないようだ

2022. 04. 06

首都制圧をあきらめ東部地区の割譲を狙って軍を移動し国際社会にあきりめムードを築くシナリオを選択したようにも見える。が然しロシアは他国民虐殺の汚名から逃れることはできないしそのはかりしれぬ代償は追わねばならない、どうも腑に落ちないのは今が国家と国家との戦争ならば戦場はなぜにウクライナだけなのか、ウクライナ軍はロシア内部へは攻撃に行かないのか、自衛戦争だとしても専守防衛に徹せねばならないとするならもしこれが日本であったとしたら特に、同じように市民虐殺がなされるのだろうか。

先日、自衛戦争はこ憲法でも許されるのかとの言葉を出された方が見えびつくりした、芦田均氏の挿入された「前項も目的を達するため」の前提条件を付けて「陸海空軍その他の戦力はこれを保持しない」との文面であることももっとよにひろめねば。無論その文面が無かるうとも、自然権として自

衛権は存在しているが、国権の発動たる戦争と武力による威嚇または武力の行使は「国際紛争を解決する手段としては」永久にこれを放棄する、この文面も「国際紛争」つまりA国とB国との「もめ事」を解決する手段としては永久にこれを放棄」しているとされる、これにはA国からの侵略に対しての「自衛戦争」は当然放棄などしていないわけにせよ侵略から自国を守る権限自衛力は持つて当然の権利としている。でなかったら、自衛隊は違憲になってしまわないか。

憲法や法律に殺人は犯罪と記していないから無罪と主張しようが一笑に付される程度の話でしょう、共産中国や共産北朝鮮もそして共産ロシアも党首は独裁的にあらゆる権限を手に入れている、共産党なる語句はレッドファシズムと変えて表記させねばならない気がする、国内でもなぜか自由な党首交代選挙がなされない政党もあるがやはり不思議である、民主主義論理が貫徹されない政党は要注意というべきであらう、

皇位継承の順番にいては慎重に

2022. 04. 06

維新の方針が出された、男系男子に

よる皇位継承の伝統を守り、かつ皇位継承対象者の安定的確保を目指す方針としては好ましいものだ一定の評価はできるが皇位継承の順番においては慎重に論議されねばならない。

現行では悠仁親王殿下までは決まっておりますが結婚後授けられた宮君がそのあとをお次になられるが踐祚なされたその時には宮家として新陛下をお支えする方がお見えにならなくなる危険性がある、その前に養子をとると今上陛下が養子をとられるのか秋篠宮殿下が取られるかどなたが御位をお次になるかで大激論が起きないか、やはり旧宮家の希望者の宮家復帰こそがベストだと私は思うが、

産経記事引用

安定的な皇位継承策をめぐり、政府有識者会議の報告書に関する日本維新の会の意見案が5日、判明した。旧宮家の男系男子の養子縁組などによる皇籍復帰案を「特に高く評価できる」と明記した。

報告書は、皇族数確保の具体策として①女性皇族が婚姻後も皇室に残る②旧宮家の男系男子の養子縁組などによる皇籍復帰の一の2案などを提示した。各党派は1月、政府から報告書の説明を聴取。今後は与野党の協議体を設置した上で、意見集約を目指す方向だ。

このため、維新は党皇室制度調査会（座長・藤田文武幹事長）で行った議論を基に意見案を作成した。

意見案によると、報告書は皇室の歴史と整合的であり、現実的であるとして

「高く評価できるものと受け止めている」との見解を示し、特に②への評価を強調した。

具体的には、昭和22年に皇籍離脱を余儀なくされた「旧11宮家」に連なる男系男子に関して、「現在の皇室との間で親戚関係があり、現在も交流関係がある。皇室と極めて近いお立場だ」と指摘。そのうえで、歴史と伝統を大切にし、古来例外なく男系継承が維持されてきたことの重みを踏まえ、皇室典範の改正により実現すべきだと訴えた。

生命尊重以上の価値

2022. 03. 29

生命尊重以上の価値の所在を諸君の目に見せてやる、それは自由でも民主主義でもない、日本だ。歴史と伝統の国日本だ」

こう檄文に記していかれた三島先生。はたと思う、昭和45年当時、国民の意識は某総理発言のごとく「狂気の沙汰」として死を意識し、大義の死を侮蔑すべきものとしてとらえていた、高貴な人格者のみが祖国に準じる大義を評価されていたが自衛官を含めてほとんどの国民は「独立より生」を尊ぶ意識の中にいた。イスラム狂信者の信仰表現行動テロを除けば誰しも祖国防衛に死者が出ようはずはない。そして50年後の今も「いのちこそ最大の価値だ」とされる。それが一気にウクライナの現状を見て意識が変わりつつあ

るのではなからうか、命を懸けて悔いなき祖国の存在があることを声にできる日が来たのだ。小学生ですら郷土や国家を守るためにウクライナの青年らの姿や価値観を見て感動を語る。ロシアの肩を持つものは一人として出会わない。生命尊重の価値以上の価値とは何かを小学生に問うと「独立」の答えが返ってきた。「国がなくなれば命もなくなる」との答えも、大いに考えてもらいたいものだ。まずは代議士に。

「なぜ日本は戦車を貸し出さないの。」こうした声に代議士はどうこたえるのか。「武器提供が定めなら自由に使える金をウクライナに出せばいいじゃん。何に使ってもいいことにすれば「子供の方がよほどの射撃議論をしてくれる。国連五大国制度の愚かさも大いに議論し、第2の国連成立の国際世論を高めるチャンスであろう。」

「日本にはいつ戦勝国が尻理屈を言って攻めてきても、合法とされているんだよ。」驚きばかりの国連、「日本はお金出さなければいいじゃん、」政府に聞かせたい言葉ではないか。

戦争終結があれば政府は全力を投入して脱退覚悟でサミットをリードしてほしいものだ。

陸軍記念日

2022. 03. 11

僕は昨日の陸軍記念日について、何を語っただろうか。戦争の話は子供や孫には語れないとか、学校ではタブ

ーだとか、右翼とみられるから無理などの理屈をつけて、素通りした友がいた。無関心であったり忘れていたなどの言い訳としてそう語ったのだろうと思うが、それでいて日本の国防がロシアの侵略は許せないとか、早く改憲を、と語る。失礼ながら、改憲がどれだけハードルが高いことが知っていて単に希望を語っているのだろうとは思えない。まずは日露戦争を語ったのか。圧倒的に軍備、兵力が劣る日本が苦難の末に大国ロシアの侵略を止めた努力の道を伝えたか。名古屋陸軍墓地にもロシア兵をまつり豊橋陸軍墓地に迎えた日本人の武士道を語ったか。戦争開始にあたって敵背を愚弄しないよう通達が出されて、国民もそれを守っていた事実を語ったか。こうした日本人や軍人の礼儀正しさや勇気など誇るべき事実を語り、初めて陸軍記念日を祝う意味が若者に伝わるし伝えねばならない。その努力なくして国防などやれっこないじゃないか。ちよい言い過ぎたがあまりに評論家ばかりおおいのが昨今の愛国者陣営の現状ではないか。しかしそれではアリバイ証明でしかない。もっと動かねば。

トランプ氏が大統領のままであつた

2022. 02. 25

もしもトランプ氏が大統領のままで

あつたとしたら。もしも安倍総理が政権を率いていたとしたら、今回のウクライナ悲劇は果たして起きていたであろうか。おそらくナトー軍も果敢に動いたでしょうし日米は強固な連携の元、ロシアの覇権主義の冒険をとどめえたのではないか。もしウクライナ攻撃を成せばシベリア抑留の仇うちを放さないぞと条件を突きつける根拠が日本にはある。アメリカもアラスカ奪還の実績がある。

安倍総理批判をしつこくなし続けた日本の野党は優柔不断な岸田総理に対してどうアンチを突きつけるのか、見ものである。独善9条の信奉者たちは傍観を進めるのだろうがこれが台湾だったら。それでも傍観するのであろうか、日本の明治維新は米国の南北戦争やロシアのクリミア戦争敗北で日本に手出しできない状態にあつた。幸運にも明治新国家誕生は米口抜きで、日本の価値観に基づいて成し遂げた、然しすでにクリミアはロシアが侵略済み。ほんとうに厄介な事態となってしまうことである、

日本の出方を注視するチャイナに侮られぬ行動を総理はとるべきである、ロシア国軍内部にブーチン糾弾の良識人がいればよいのであろうが。

226 を思う

2022. 02. 21

まもなく2月26日。いくさむなしい226(1936なしい226)

または11226(昭和11年226)で日にちを覚えるのもよいでしょう。

悲しき悲劇となつてしまいました、安藤輝三(あんどつてるそう)歩兵大尉を忘れるわけにはいきません、事件に関与した皇道派の人物で、軍法会議で首謀者の一人とされ死刑となつていますが。実に至誠の人であつたとされます。事件前に鈴木貫太郎侍従長邸を訪問し、時局について話を聞いた事があつた鈴木氏は親しく歴史観や国家観を説き諭し、安藤は大きな感銘を受けた。最も決起に反対した大尉はしかし直前に同志を見殺しにはできぬと意を固め負けを覚悟に決起された、付き従う隊員は全反乱部隊の総兵力の60パーセントになったとウィキにある。

安藤大尉でなかったら鈴木貫太郎閣下は事件で絶命されたでしょう、すれば総理となつてポツダム宣言を受諾する道は閉ざされたのではと愁います。二二六はじつに大きな意味を持つ事件であります、ちなみに三ヶ根ゆうとびあには荒木貞夫閣下の「誠」と大書された旗が展示されています、

政党の腐敗が憂国の軍の決起を促した事件が226。政治を担うものは、その責務責任の重さをじっくり思ってもらいたいものです。

権門上(かみ)に傲(おご)れども国を憂(おこ)る誠なし
財閥富を誇れども社稷(しゃしょく)を思う心なし

各位、各団体からの感想・意見・報告

The Cruel War
戦争抑止力

4-10 広島 奥中正之

「明日は月曜よね。月曜にはあなたは隊長の命令に従って帰隊しなきゃならないのね」米国の反戦フォークソング「悲惨な戦争 (The Cruel War)」の歌詞の一節である(奥中が意識)。今生の別れとなるかも知れない恋人を送る悲しさを切々と歌っている。

戦争は悲惨である。戦場となったウクライナの悲惨な状況は日々映像により私たちの肺をえぐっている。多くの男性が妻・子そして恋人を国外へ避難させて別れ、自分はウクライナに残り、命をかけて露軍と戦っている。戦争は悲惨である。だから戦争をしてはならないと発想する人達が居る。

中には「憲法九条はプーチンのような政治家が戦争を起こさないためにある」などと、新興宗教の教祖の如く信者にしか分からないようなことをのたまうご仁まで出現した。

戦争をしてはならないのではなく、戦争を仕掛けられてはならないのである。ウクライナがどのような防衛策を講じて居ればプーチンの野望の暴発を防げたのか? 研究して我が国の防衛政策に反映させねばならない。それが力で現状の変更を躊躇しない習近平の暴発

を抑止する力となる。以上

The Cruel War is raging, Johnny
has to fight

I want to be with him from

morning to night.

I want to be with him, it grieves

my heart so,

Won't you let me go with you?

No, my love, no.

高校の時、50年前、ギター片手にいつも口ずさんでいました。 マスキ

ロシア兵捕虜の殺戮
は合法

04.05 政経調査会 榎泰智

「ウクライナでロシア兵捕虜を殺害

か?」との指摘がなされているがロシア兵に対する殺害は問題ない。戦争となれば戦時国際法たるジュネーブ条約が適用され戦争捕虜に対する適切な処遇が求められる。しかし、今回の「ウクライナ戦争」が戦争であるのか?

宣戦布告も最後通牒もないままにロシアが一方的にウクライナに攻め込んだ。つまりは押し込み強盗であり無差別殺戮である。宅間守が池田小学校に乱入して児童を殺戮していると考えれば合点がいくだろう。教師や警官は太刀打ちができない。止めに入れば自分

がやられる、「やめなさい」と言っても殺戮を続ける。これに対し武器を使用して殺害するしかないという状況にある。

そもそも戦争であればロシアも攻撃するがウクライナもロシアに攻め入る可能性がある。しかしウクライナはロシアに攻め入ることはない。

野球でもスポーツは攻めがあれば守りもあって成立する。この戦争ではロシアはウクライナからは攻められる恐れはない、という安全圏において戦いを進めている。その代わりウクライナ国内に軍隊が攻め入れば、抵抗され敗北を喫する可能性がある。その場合、白旗を挙げて降伏すれば「捕虜」として扱われて良いのか。守る側のウクライナとしては勝手に領土に乱入し殺戮を行った殺人犯が、力尽きて降伏することでの奴らの治療や食料・宿泊施設を世話しなければならぬ義務が生じて良いのか。いつ隙を見て謀反を起こすか脱走するかもしれない輩を嚴重に警備せねばならない。ロシアからの攻撃に応戦するだけでも手一杯なのに捕虜の為に資金と兵力を割く余裕はない。

ジュネーブ条約に則った捕虜の扱いが義務付けられるということなら、ロシアは60万の兵力を全てウクライナに投入した上で降伏させればよい。弾薬も装備も持たせない訓練も受けてない軍服を着ただけの与太者でも軍隊と言

う名の下にウクライナ領内に乱入させて白旗を挙げさせれば捕虜として衣食住を与えてもらえる。迎い入れるウク

ライナは多大の国費を使ってロシア兵を養う義務を負わされる。ウクライナ軍が攻め込んでくる恐れが無いロシアは捕虜を養うリスクはない、という不条理が起こる。故に「これは戦争ではない」「ジュネーブ条約を適用しない」とウクライナは全世界に対し宣言するのだ。

この情報はロシア兵にも届くだろう。ウクライナ侵略に参加すれば捕虜としての厚遇は受けられない。合法的に残虐な死が待ち受けている、住民から殴り殺しにされ遺体は犬の餌と化す事実を知らしめてやればよい。現状において降伏したロシア兵を殺害することは問題ないのである。

私も榎さんにまったく同感ですね。 マスキ

ロシアの侵略に対
峙する歴史観

「東京教育懇話会 空花正人

産経正論に江崎道朗氏の論者が掲載されている(3月29日付)。

これを参考にしながら私見を述べたい。

ソ連による占領と人権弾圧の実態が広く知られるようになったのは、1991年のソ連邦解体で、ポーランドやバルト3国などが自由を取り戻してからである。欧州議会(EU)の2016年6月の決議は重要である。ソ連とナチスドイツはモロトフ・リッ

ペントロップ協定と呼ばれる不可侵条約を結び、欧州の分割統治を密約した。このNつ全体主義体制に挟まれたポーランド、フィンランド、ルーマニア、バルト3国は占領され併合された。大戦後もこれらはソ連の衛星国にされてしまった。そしてソ連解体後、自由と独立を取り戻したが、プーチン政権はソ連の侵略を正当化し、再びソ連邦の復活を目指す動きに出た。

ロシア指導層は歴史的事実を歪めて、ソビエト全体主義体制が犯した戦争犯罪を糊塗しようとしている。さて、今回のロシアによるウクライナ侵攻を我々日本人はどのように見たらよいのか。領土拡張（侵略）に関しては、北方領土問題がある。人権弾圧では、シベリア抑留という奴隷労働がある。遠い昔の話ではない、今我々の眼前で行われているのだ。遠い国の話ではない、ロシアは日本の隣国なのだ。

ウクライナ支援と連帯を強固にし、もってソ連（ロシア）による国際法違反の犯罪を国際社会に強く大きく訴えるべきである。八方美人の岸田政権の背中を押し、尻を叩かねばならない。じっとその行動を見ているもう一つの全体主義体制が日本の隣国にある。

対中核抑止力について

4-10 広島 奥中正之

ロシアによるウクライナ侵攻にNATO及び米国が参戦するのをプ

ーチン大統領は核恫喝によりけん制した。この事態を受けて安倍元総理や高市政調会長が「米国との核の共有」の議論を提案した。この対案に対して岸田首相は「私は広島政治家である。核三原則は堅持する」と反応し、安倍総理や高市会長の提案を打ち消した。さて、「私は広島政治家である。」も結構だが、現実はどうなのか。いや、私も広島県民だが。

中国は「台湾有事に日本が武力介入すれば、核爆弾を連続的に使用し、日本が無条件降伏するまで使う」などとネットで発信して我が国を威嚇している。またロシアのプーチン大統領は核兵器使用の可能性に触れて、米国と欧州を威嚇した。

この厳しい現実に向き合いながら、我が国の核抑止力を強化について思考停止したような岸田首相のご発言には危機感を覚えざるを得ない。首相は米国の核の傘が対中核抑止力として有効に働き、我が国を守るとお考えなのだろうか？ その保証があるとお考えなのだろうか。お花畑の張本人は岸田首相か？

軍事ジャーナリストの鍛冶俊樹氏によれば、『中国が日本を核攻撃する場合には、中距離核ミサイルを使う。これに対して米国は中距離核ミサイルを配備していないので、中国の対日核攻撃に対しては、米国本土から大陸間弾道核ミサイルで反撃する他ない。さすれば中国は大陸間弾道核ミサイルを米国本土に向けて報復発射することとなる。』

数千万人の米国民の犠牲をいとわず米国は日本の為に中国に対して核の報復攻撃をするだろうか？米国政府が決断をするとは考えられない』と言われている。つまり中国が大陸間弾道核ミサイルの発射基地を増強している現状から考えて、米国の対日核の傘はなくなっただと考えねばならない。そう考えるべきだ。守るべきもの（国民）がある方が弱いのだ。

中国が台湾を侵攻するか否か？ではなく、何時侵攻するのか？というレベルに至った現状に鑑みて、私たちは早急に対中核抑止力を独自で構築しなければならぬ。岸田首相はその点をご承知の上、来たる参議院選をにらみ、核アレルギーが強い国民に自民党に対する情緒的逆風が発生することを懸念されて、政治的に核共有議論を封鎖する発言をされたのかも知れないと思う。しかし今、そのような悠長なことを言っている時ではない。

プーチン大統領の暴走により、独裁者の意思によって力による現状変更が断行されるという戦後秩序の地殻変動に直面する過酷な現状から考えると、岸田首相は核共有議論が出来る雰囲気作りをされねばならない。その責任があるのではなからうかと思料する。

夫婦別姓、最高裁も賠償認めず 裁判官1人中2人が「違憲」

2022/03/23 共同通信社

悪徳不動産屋の独り言より

立川 坂口久夫

これねえ、最高裁が賠償を認めない判断をしたのは当たり前だけど、裁判官5人のうち2人が「違憲」で、アホか、と思う。何度も書いていくけど、「結婚したら夫の姓を名乗らなければならぬ」

ではなく「どちらかの姓を名乗る」と規定されているのだから。選択的夫婦別姓に持って行きたいんだろね。弁護士出身の渡辺恵理子裁判官は決定理由で「規定は、姓を変更するか法律婚を断念するか二者択一を迫るもので、婚姻の自由を制約するのは明らかに」と指摘した。

姓を変更するか法律婚を断念するか二者択一を迫られる・・・、そんなふうに大袈裟に考えるのは被害妄想。日本の戸籍制度は世界に冠たる立派な制度。だいたい、婿養子に入らない限りはほとんど夫の姓を名乗るんだろけど、それを「あなたの姓が名乗れて嬉しい、私は何人もいた恋敵に勝利した」と喜ぶような彼女でなければ可愛くない。今の「うちの」は凄く喜んでくれたよ、まあ、理由が違うけど・・・。

うちの旧姓は、どこにでも転がっている苗字。特に東北地方に多くて、それが嫌で嫌で堪らなかつたみたい。病院なんかで「〇〇さん」とフルネームでなく苗字で呼ばれると何人もベソから立ち上がったって。だから今の姓から替わるならどんな苗字で

も良かったみたい。私は「うちの苗字」に替わっても良かったんだけど、それだと義父と全く同姓同名になるから断念(〜♪)

非力ですが、無力ではない

3-12 東京 三澤浩一

ウクライナだけではなくウイグルにも南モンゴルにもチベットにも目を向けて声をあげてませう！漢土にも！香港にも！そして台湾にもです！

かつての陸軍記念日である本日3月10日は昭和20年、アメリカによる無差別爆撃により、非戦闘員である東京にいた民間人が大量虐殺された日でもあります。

栄光と痛哭の日です。

今の罪もない人々に対する大量虐殺は現在、ウラジミール・プーチンが率いるロシアによってウクライナで行われています。プーチン・ロシアが2月24日、ウクライナへの侵略を再開してから、2週間が経ちました。侵略ではなく、侵略であり、開始したのではなく、再開したのではなく、再開したと断罪すべきです。



三澤浩一
プーチン・ロシア

がクリミナ半島を侵略したとき、我が国を含む国際社会は、強く大きな制裁をくださず、結果としてロシアの侵略を許してしまひました。

プーチン・ロシアがウクライナ侵したのは、誰もプーチン・ロシアを止められないとの確信があつたからでせう。

プーチン・ロシアは、今はウクライナ全土を侵略するため、軍民無差別の攻撃をしています。ウクライナの人々だけではなく、多くの国々の人々が激しい怒りと深い悲しみを顔にしています。勇敢なウクライナの人々は、プーチン・ロシアに屈することなく、勇猛果敢に戦つてゐます。ウクライナ政府の呼びかけにより、50か国を超える国々から2万人を超える人々が、外国義勇兵を志願したと報じられました。我が国からも約70人が志願してゐることです。全員が男子で、20代から60代までの老壮青で、約50人が元自衛官と報じられてゐます。彼らの勇氣に敬意を表したいと思ひます。

プーチン・ロシアのウクライナ侵略を許さないのは当然であり、ウクライナを支持し、ウクライナの人々と連帯すべきと確信してゐます。

その上で、今あへて申し上げます。ウクライナだけでいいのか！と。侵略者はプーチン・ロシアだけではありません。

中国共産党が支配する中華人民共和国すなはち中共はどうなんでせう。中

共に侵略されたウクライナ、南モンゴル、チベットを忘れてはいけません。天安門で殺された人々をはじめ民主化を求める漢土の人民もです。

また、自由を奪はれた香港の人々もです。中共に虐殺、弾圧、蹂躪されてゐる人々にも目を向けて、声をあげるべきだと信じます。さらに、台湾にも目を向けなければなりません。中共は台湾の併呑を狙つてゐます。断固として阻止しなければなりません。

プーチン・ロシアのウクライナ侵略に対して、中共が仲介云々を述べはじめました。プーチン・ロシアと同じ侵略者・虐殺者の中が……です。

ウクライナを支持して、ウクライナと連帯することは、もちろんです。そして、ウクライナだけではなく、ウイグルにも、南モンゴルにも、チベットにも、目を向けて声をあげてませう。漢土の人民にも！

香港にも！そして台湾にもです！

侵略者・虐殺者・苛政者の兇・蛮行を坐視せず、小さくとも声をあげ、一歩でも踏み出すことが必要だと信じます。僕のやうな老輩は「螻蛄の斧」と同じで、プーチン・ロシアや中共とは比較にならないぐらゐる非力なのは承知してゐます。しかし、非力ですが、無力ではないと信じます。一にも満たないかも知れませんが、零ではありません。無ではありません。微力ながらも、全力を尽くすべきときだと信じます。

日本精神の復活は正しい歴史を学ぶことから

2022年02月18日

京都北山細野の神主 中村重行

「自国の歴史を忘れた民族は滅びる」(アーノルド・トインビー)

しかし、今われわれ日本人が戦後学んできた歴史は第2次世界大戦の勝者(アメリカと連合国)が書いて(アメリカに都合の良いようにでっち上げて)敗者(日本国民)に日本国憲法と共に押し付けたもので本当の日本の歴史ではありません。以前に書いたように歴史は勝者が書くもので敗者にとつては屈辱以外の何物でもありません。戦後70数年経つのに今だ日本はアメリカの占領下にあるのです。思想的にも、軍事的にも。

経済だけではなく国が存続できないのは世界の歴史を見れば解ります。トインビーが言われたように日本国民は自国の本当の歴史を忘れ、敗戦後勝者であるアメリカを始め連合国の都合の良い歴史を日本国憲法とセットで押し付けられているのです。一度負ければ立ち直る迄に最低100年かかる、と何処かで読んだように思います。もう20数年？それまでに日本国家は消滅しています。

これから歴史を学ぶのは子供達です。教えるのはこれまでアメリカの作った自虐史観の歴史を教えてきた日教

組です。このような勝者の歴史を日本人は屈辱的と感じなくなってしまうているのです。学ぶ子等も教える先生も、正しい歴史を探究するはずの歴史学者も。一番最初に正しい歴史を書き直さなければならぬのは歴史学者の責ですが今の歴史学会は自虐史観の歴史以外通らなくなってしまうているのです。

我々教育の素人から歴史学者（教育者も含め）を見れば正しい歴史を研究して新事実が出れば正しい歴史に書き換え訂正してくれるものと思っていま

すが、「師ののりを超えず」が未だに守られていっているのです。これが新技術や新発見が優先する、科学や物理学など他の学者研究者達と違うのでしょうか？

日本の歴史学会は日本人の誇りを全く失ってしまったのでしょうか？ どうかの大学で正しい日本の歴史を研究発表してくれる所はないのでしょうか？

日本人が誇れる過去の実績、人物や英雄などが子供達に教えることが出来れば今の停滞した、明日がないような鬱陶しい気分が晴れるのですが。ただ、光明はあります、有史以前の発掘で縄文時代や石器時代の遺跡が発掘され、時代が「炭素14年代測定法」により世界最古の文明が日本各地で出てきたことです。

の大学も良いが日本国民の誇りを取り戻すことも大切です。古代から日本人の実績を掘り出し歴史に繋げる考古学を目指す若者に期待したいと思えます。これからは縄文時代の発掘研究に国も研究費を惜しまず、研究者の育成に力を入れて日本人の夢をも広げて欲しい。

私の机の前には土偶（小さなレプリカ）と土鈴がいつも飾っています。私が受験生なら迷わず東北か北海道の学校で考古学を学びます。

第二次孔子廟訴訟判決の意味するもの

3月26日 弁護士 徳永信一

6月26日、那覇地方裁判所で第二次孔子廟訴訟の判決がありました。昨年の最高裁大法廷判決において、那覇市による孔子廟の公園使用料減免処分は政教分離原則に違反しているとした事件。

判決を受けて那覇市は施設の所有者であり釋奠祭禮の主事者である久米崇聖会に対し、年間577万円の使用料を請求し、過去の年に渡って3500万円が支払われました。

しかし、市民が使用するべき「市民の公園」において、憲法上の「特定の宗教団体」であると認定された久米崇聖会が孔子廟という「宗教的施設」を設置し、そこで釋奠祭禮という孔子の霊を迎える「宗教的儀式」を行うとい

う事実は何一つ変わりません。それでも那覇地方裁判所は、これを合憲だと判断しました。孔子廟の撤去こそ叶いませんでしたが、政教分離原則が、その程度のものだとして相対化したという側面においては、保守派にとって歓迎すべきところもあるというのが今回の考察です。

つまり

1 目的が宗教目的ではなく、観光や教育という公共的な世俗目的があれば、その効果において特定の宗教団体の宗教活動を容易にする効果を伴ったとしても、一般人の評価として特定の宗教団体に対する便宜供与とまではいえないというものです。

2 宗教活動を容易にするという効果の程度において決定的とされているのは公園使用料の支払いです。確かに、それは重要ですが、都市公園法上の公園において特定の宗教団体の宗教施設が設置され、宗教儀式が行われているということは、当該宗教儀式を「市」が支援していると捉えても不思議ではないと思われるのですが、公共目的があればそれでもいいということなのです。

3 靖国神社問題に引き直すと、靖国神社が行っている英霊祭祀は、確かに宗教的側面もありますが、同時に、戦没兵士の慰霊、英霊としての顕彰による日本という国家の独立性と永遠性の確認と象徴としての側面があります。「観光」の目的は不謹慎ですので出せませんが、「教育」の目的は十分にあ

ると思います。

「慰霊・顕彰」も世俗的かつ公共的な目的といえます。国家が殊更の財政的支援をするというものでなければ、あるいは財政的支援は、公共目的ないし世俗目的としての慰霊顕彰に対するものという構成をとれば、特段の問題はないということにできます。

4 目的効果論でも総合判断基準でも、最後は「一般人の評価」というところに帰着するわけですから、きちんとした「論」を日頃から打ち出し、それに大方の国民が納得しているという状況を作り出すことが肝要だと考えています。

みなさま、どのようにお考えになられるでしょうか。僕は、日本国憲法は擁護すべきだという立場をとっています。あくまでも9条は自衛権を認め、自衛隊を容認しているものであること、1条は天皇を元首としている規定であると解釈し、政教分離規定は、日本の文化的伝統を歪めることのないものであって特定の宗教団体に「特権」を与えて国民に強制するようなものでなければいいという分かりやすい解釈論をたてることができるんじゃないかと思っています。みなさんはどう思われますか。

ウクライナでロシアと闘い死亡した勇者たちを慰霊し顕彰することは国として国民として当たり前のことであり特定の宗教に基づくのではないことは、さすがの日本国民にもわかることではないでしょうか。

今月のニュース、マスコミ報道

鈴木宗男氏 ロシアの大量虐殺報道に「何が正しいか受け止めに躊躇」印象操作に「虚しさ」

4/9(水) テイリースポーツ

鈴木宗男氏

日本維新の会の鈴木宗男参院議員が6日、公式ブログを新規投稿。ロシアのウクライナ侵攻について「テレビから、ロシア側、ウクライナ側の主張、映像が知らされるが、なにが真実で、なにが正しいのか、受け止めに躊躇してしまう」とつぶった。

この日は、ウクライナの首都キエフ（キエフ）近郊の町ブチャで見つかった多くの一般市民の遺体が見つかり、ロシア軍による大量虐殺と国内外の多くの報道機関が伝えている。一方でロシア報道は「フェイクニュース」と報じている。

この状況に鈴木氏は「情報化の時代、それぞれ都合の良い頭づくりで作られてしまう危険性をつくづく感じながら、同時にメディアの使い方、発信の仕方によって全く違う価値観が出てくることに恐ろしい限りである」とコメント。

「20年前のいわゆる『ムネオバッシング』を思い起し『言った者勝ち』『先に報道した方の勝ち』を振り返り

ながら、今回も直感で目に入るメディアによる時には印象操作とも思える場面場面に、何とも言いようのない虚しさが去来した」とつぶった。

さらに「私の願いはただ一点、早く停戦し尊い命が亡くならないことだ。一般の人に武器を持たせては犠牲者が増えるだけである。兎にも角にも話し合いで、停戦してほしいと祈るしかない」と、ウクライナの市民が武器を持つて戦っていることに言及した。

同感ですねー。8割方真実だとは思いますが・・・。 マスキ

ウクライナ戦争で敗北した「日本」の理想主義「他国の善意に自分たちの平和と安全を委ねる」甘い物語に酔い：一部で出た「降伏論」が証明

4/5(火) タ刊フジ

岸田首相は、国民の生命と財産を守るために「憲法改正」に踏み出せるか【ニュースの核心】

ウクライナ戦争の行方は混沌（こんとん）としている。ロシアは停戦協議で譲歩する姿勢を匂わせ、首都キエフ（キエフ）に対する攻撃の縮小も表明

した。だが、これは「態勢を立て直すための時間稼ぎ」だろう。

私は、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領が、ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー政権を転覆し、少なくとも一部を武力で奪い取る意思に変わりはない、とみる。交渉で合意したとしても、彼にとつて、それは「一片の紙切れ」にすぎない。プーチン氏が信じているのは、あくまで「力」なのだ。事前に予想された、あらゆる非難と批判を振り切つて、侵攻に踏み切つた理由はそこにある。そうであれば、武力で勝ち取れる可能性がある限り、ここで交渉に本気で舵を切るはずがない。まだ、彼の手には生物・化学兵器も核兵器もある。それが使われる事態を思い浮かべるのはおぞましいが、彼が信奉する「力の論理」に従うなら、可能性は排除できない。

戦争の結末は見えないが、ここまでで「敗北」がはつきりした国もある。それは私たちの国、日本だ。なぜ、日本が敗北したのか。それは、日本が「他国の善意に自分たちの平和と安全を委ねる」という世界に例がない甘い物語に酔いしれているからだ。

日本国憲法の前文は、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」と書かれている。だが、ロシアの侵攻が示したのは、「世界の平和と安定に責任を持つ国連安全保障理事会の常任理事国であっても、チャンスと見れば、迷わず侵略に打って出る国がある」という現実だった。ロシアだけで

はない。日本は、沖縄県・尖閣諸島を脅かす中国と、弾道ミサイルを乱発する北朝鮮に周囲を囲まれている。そんな専制主義・独裁国家の善意に頼っていて、平和が守れるわけがない。

日本の「敗北」は、ウクライナ戦争について、一部に「降伏論」が出たことでも証明されている。「ウクライナが武力で勝てないなら、降伏してでも国民の命を守れ」という論法は、攻撃能力の保持を禁じられている日本にも、あてはまるからだ。

実際、降伏論はこれまでも登場していた。「右の頬を殴られたら、左の頬を出せ。そして降伏せよ」という話を。降伏論は日本が他国の善意に依存して、十分な自衛力を持たないのであれば、当然の論理的帰結でもあった。

私はウクライナに「降伏せよ」などと言つ前に、日本人自身が「他国の善意をアテにしていた才たちがバカだった。負けた」という事実が気づくべきだ、と思う。米国では、「自由や民主主義、法の支配といった理念が世界を導く、という理想主義こそが間違っていた」という反省が生まれている。今後は、力をもとに世界を分析する現実主義が強まるだろう。他国の善意に平和を委ねる日本の憲法は「理想主義の極致」である。そんな状態では、もはや安心して眠れない。幸い、まだ多少の時間はある。一刻も早く憲法を改正すべきだ。全力で戦わずして降伏など、まっぴら御免である。

警察幹部に大泥棒がゴロゴロいる（た

とエスヨ！)のが世界の現実。
「百人の会」的にはこのことを学校で教えないといけない。 マスキ

ウクライナと重なる2年前の記憶 「引き揚げ資料館」改装…ソ連兵に暴行受けた女性の中絶 極秘施設 資料拡充 (福岡発)

4/4 テレビ西日本

戦後、130万人以上が大陸から引き揚げてきた博多港。その引き揚げの歴史を伝える資料館が、10年ぶりにリニューアルされた。

引き揚げ者の一人は、当時の状況がロシアの侵攻を受けている現在のウクライナと重なる話です。

1480点の資料が物語る歴史

上村陽一郎さん船を待たなきゃいけなかったから。その時は、栄養失調でシラミ、ノミが身体にたかり放題だった終戦後の博多港。国内最大級の「引き揚げ援護港」として、130万人余りを受け入れた。海外で敗戦を迎えた人たちにとって戦後、祖国に辿り着くまでの道のりは苦難の連続だった。

岸本貴博記者今回のリニューアルにもない、展示される資料もこれまでの100点から1480点に大幅に増えました。実物の資料が歴史を静かに物語っています

開館から10年。展示物が大きく変更された会場には、終戦時、当時の朝鮮にどれだけの日本人が住んでいたのか

が詳しく記された資料や、戦時中に満州国で使われていた紙幣なども展示されている。生まれた赤子の首を絞め…極秘施設で中絶手術。その中でも、日本に引き揚げる途中、旧満州に侵攻してきたソ連の兵士などに暴行され望まぬ妊娠をした女性に対し、中絶の手術を施していた極秘の施設「二日市保養所」に関する資料と説明は大幅に拡充された。

村石正子さん(2014年取材)：あちらに大きな風呂があって、あれからずっと向こうまで病室があった

1年前に亡くなった元看護師の村石正子さん。村石さんは二日市保養所で毎日、手術に立ちあった。

村石正子さん(2014年取材)：先生の手元を見ながら、まず子宮口を開かないといけないでしょ。言われなくても(中絶用の)器械を差し出すんですよね。それをしてました、ずっと。

村石正子さん(2014年取材)：長い産みの苦しみを経て、赤ちゃんがオギャーと一声上げたら、ほんと安心するんだよって。そしたらお乳も張ってくるんだけど、それを彼女たちに味わわせるのは酷じゃないかって。だから声を聞かせないんだよって(医師に)言われてたから、私が立ち会った時、とっさに首を絞めたんです。

大きくよく太った女の子でした。赤い髪ね…。また改めてメスを刺して、首を締め直したんですけど、仕方がなかったんです。お母さんのためだから、ごめんねって言ってました。あの

子たちに罪はない。お母さんにも罪はない

弱い立場の人が犠牲に 重なるウクライナの現状

家族とともに旧満州から、命からがら引き揚げてきた上村陽一郎さん。

当時の状況は、女性や子どもなど弱い立場の人たちが多く、犠牲となっている今のウクライナと重なる話です。

上村陽一郎さん今のウクライナの状態は、我々が経験したこととリンクするんです。まさしく1年前に、あのころはソ連軍が満州に入ってきた訳です。日本も満州という国をつくっているから、あまり言えないんでしょうけど

…。本当に胸が痛いですよ。いわゆる戦争というのは、戦場で戦う軍人だけではないですからね。だから、今のウクライナの戦争が早く終結してほしいと切望します

福岡の歴史を知り、今の世界情勢を考えるきっかけに。博多港引き揚げの展示は、福岡市中央区の市民福祉プラザに常設されている。(テレビ西日本)

“不肖・宮嶋” 宮嶋茂樹氏「いつまでキエフで取材」「地元の人に『逃げなんだ』って言われたら…」

4/4(月) スポニチアネックス

報道力マラマンの“不肖・宮嶋”と宮嶋茂樹氏が4日、パーソナリティを務めるニッポン放送「辛坊治郎ズ

ーム そこまで言うか」(月々木曜後6・30)にウクライナの首都キーウ(キエフ)から中継で出演。近況を伝えた。

200の辛坊治郎氏から「やばい局面もありましたか」と問われ、宮嶋氏は「何回か逃げようかとは思って、車の手配をしたりした」と回想。「特に核とか化学兵器を使用するんじゃないかという噂が広がった時には…。こちらは防弾チョッキやライフルは出回ってますが、ガスマスクは誰も持ってないんで。ガスになるとな…。そういう時は西に逃げようかなというのはありました」と明かした。

さらに辛坊氏から「逃げる時の判断基準は」と聞かれ、宮嶋氏は「そのへんは難しいんですが、地元の人に首根っこを捕まれて、『逃げるんだ』って言われたら逃げようかな」と返答。「でも、こっちの人って頑張っちゃういますんで」と続けた。

“不肖・宮嶋” 宮嶋茂樹氏……彼は私たち百人の会の仲間です。彼は数少ない「信頼できるジャーナリスト」です。 マスキ

北方領土「不法占拠」記述が復活 外交青書、対ロシア配慮を転換

3/31(木) 共同通信

外務省がまとめた2022年版外交青書の原案が31日、判明した。北方領

土について「日本固有の領土だが、現在ロシアに不法占拠されている」と日本の主権を強調する強い表現を復活させた。同省によると「不法占拠」の記述は03年版、「日本固有の領土」は「11年版以来。ロシアのウクライナ侵攻により領土交渉の長期停滞は確実に、ロシア側に配慮してきた従来の姿勢を転換した。」

米「北方領土は日本主権」 当局者が主権認定を明言

原案では領土交渉の展望について、ウクライナ情勢を踏まえ「語れる状況にない。まずはロシアが国際社会の非難を真摯に受け止め、軍を即時に撤収し、国際法を順守することが強く求められる」と明記した。

取り急ぎ、座布団1枚。 マスキ

教科書抗議の韓国に反論 政府

3/30(水) 時事通信

松野博一官房長官は30日の記者会見で、日本の高校教科書の検定結果に韓国が抗議したことについて「日本の一貫した立場に基づき、抗議は受け入れられないと反論した」と説明しました。

韓国側は島根県の竹島や元徴用工・慰安婦問題に関する記述を問題視したが、松野氏は「専門的、学術的審議に基づき公正・中立に検定が行われた」と強調。

「子どもたちが自国の領土や歴史を正しく理解することは主権国家の公教育において当然だ」と語った。

韓国釜山教育監「日本の歴史歪曲教科書、直ちに是正を」

3/30(水) 中央日報日本語版

金錫俊（キム・ソクジュン）釜山（プサン）教育監（教育委員会の事務を総括処理する公務員）は、日本政府が歴史を歪曲した教科書の検定審査を通過させたことに強い遺憾の意を表明し、是正を求めた。

金教育監は30日に発表した声明で、「日本文部科学省が戦争犯罪を縮小・隠ぺいし、韓国固有の領土である独島（ドクト、日本名・竹島）の領有権を主張する内容の教科書を検定通過させたことは、未来の世代に誤った歴史観を植えつける」と述べた。

また、「大韓民国の領土主権を侵害するだけでなく、韓日関係の未来志向的発展や北東アジアの平和と共存を阻害する行為」と批判した。

金教育監は「日本政府は歪曲した教科書を直ちに是正しなければならず、釜山教育庁は生徒の歴史教育をさらに強化していく」と述べた。

「君が代」を手話で首相「対応考えたい」

3/28(月) フジテレビ系

「君が代」を手話で表現できないか、国会で議論が交わされた。

自民党・今井絵理子議員（「耳の不自由な人」の日本人たるアイデンティティの証として、ぜひ手話による国歌を制定すべきではないか）

岸田首相「手話を用いる方々を含め、国民の皆さまに国歌に親しみを持っていただくこと、これは重要なことだ」参議院決算委員会で、国歌「君が代」に統一した手話の表現が定まっていな

いことを指摘され、岸田首相は「試行版の作成などの取り組みを見守ったうえで、政府の対応を考えていきたい」と述べた。

夫婦別姓、最高裁夫婦別姓、最高裁も賠償認めず 裁判官5人中2人が「違憲」

2022/03/23 共同通信社

夫婦別姓を認めない民法や戸籍法の規定は違憲だとして、東京都と広島県の事実婚の男女2人が国に損害賠償を求めた2件の訴訟で、最高裁第9小法

廷（林道晴裁判長）は、原告側の上告を退ける決定をした。22日付。請求を棄却した一、二審判決が確定した。賠償を認めない結論では裁判官の全員が一致したが、うち2人は個別に「規定は違憲だ」との意見を付けた。

弁護士出身の渡辺恵理子裁判官は決定理由で「規定は、姓を変更するか法律婚を断念するか二者択一を迫るもので、婚姻の自由を制約するのは明らかだ」と指摘した。

自衛隊員にワクチン優先接種を クラスター発生なら災害派遣や防衛出動困難に トンガでは輸送物資搬入が一時停止

2022. 2/10 タ刊フジ

航空自衛隊のC130輸送機2機が、飲料水などの支援物資を搭載して、大規模噴火と津波があったトンガへ向かった。派遣隊員に、新型コロナウイルス感染が確認された。トンガ政府は「ゼロコロナ政策」を実施しており、陽性発覚のため輸送物資搬入が一時停止となった。1月29日に再開したが、せっかくの支援に影を落とす形となった。

自衛隊の一般隊員に対し、ワクチンの「3回目接種」の優先枠を用意する議論すらない。自衛隊は「自由で開かれたインド太平洋」を守り維持するため、関係諸国とともに訓練や演習を頻

繁に行っている。災害支援や平和維持活動に向かうこともある。日本を取り巻く厳しい情勢に諸外国との連携なしに国は守れない。訓練や演習、情報交換や連絡員派遣でも自衛隊員の感染予防体制は課題となる。

昨年5月には、米モデルナ製ワクチンの治験枠が、海外勤務や災害派遣対応の約1万人の自衛隊員にあった。自衛隊の医療スタッフや衛生隊員、救難パイロットなどには優先接種枠が今回もあるが、一般隊員にはない。

自衛隊内で大規模クラスターが発生すれば、災害派遣や防衛出動が困難になる。なぜ、全自衛隊員が優先接種対象とならないのだろうか。

3回目接種は、新たな変異株「オミクロン株」にも感染・重症化予防効果が期待される。新型コロナウイルス感染で機能不全にならないためには、全隊員への優先接種枠が必要だ。

そんななか、またもや自衛隊にワクチン大規模接種センターの再開設が求められた。国は1年たった今も、自衛隊抜きで接種システムを構築できなかった。1年間、一体何をやっていったのか？ 行政の不手際にはあきれかえる。

自衛隊は、英国船籍のクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」対応から始まり、ワクチン接種、患者の搬送、空港検疫対応と継続して新型コロナウイルス対策に投入されてきた。自衛隊病院の一部は、新型コロナウイルス感染症の重症の患者にも対応している。

自衛隊の医療スタッフは看護官を入

れても、全国でわずか1000人ほどだ。その決して多くない自衛隊の医療スタッフは、「第6波」でも第一線に駆り出される。現役だけでは足りず、OB医官にも協力要請があるようだ。

自衛隊員の昨年末のボーナスも、他の公務員と同様に減額された。国のために身を粉にして働いても報われないう。しかし、それでも元自衛隊医官の間では「大規模接種時にはできる限りバックアップする」という声があがる。自衛隊や自衛隊OBは要請されれば可能な限り協力してくれる。心から感謝をささげたい。

さすが、オレンジ色の憎いやつ！
マスク

「戦争犯罪の名家・本元が戦争犯罪を語る愚かな現実」
国際法を破るのは朝飯前の白色人種

空の神兵顕彰会会長 奥本康大
2022.04.09 やまご新聞より

ウクライナとロシアとの戦争では不可解なことがばかり。国際法なんかあっても何の役立たない。また国際条約などは屁のツッパリにもならないのがよく解ります。

ハーグ陸戦条約第46条には非戦闘員に危害を加えてはならないとありますが、今回の戦争でも守られなかったのです。国際法は絵空事であり、過去、日本は大東亜戦争で煮え湯を飲

まされたことを忘れてしまっています。

アメリカはじめ連合国は、大東亜戦争において非戦闘員を虐殺し、大量破壊兵器を使用して日本人非戦闘員を60万人以上を殺戮したのですよ。しかし、今回のウクライナとロシアの戦争において、お互いが「戦争犯罪」の応酬をしたり、外野席に居る、かつての連合国が「戦争犯罪」と非難を繰り返しています。これが世界なのです。白人のご都合主義が罷り通っています。



「自分たちの国は自分たちで守る」が世界の常識であるのに、未だ目が覚めない日本はどうかしています。本腰を入れて憲法問題、自衛隊問題に着手しようとせず、難民受け入れや支援物資を送ることばかりに目を向けています。政府や国会が機能していない事を、国内外に知らせている情けない有様です。対ウクライナ戦争で大変なロシアでさえ、この機に乗じて北海道に食指を延ばす活動をしています。また中国は着々と台湾、尖閣、沖縄に狙いを定めています。最早、アメリカは日本との同盟国としての働かないことは明白となっています。世界の警察官を辞退したアメリカが、日本の為に血を流す筈はありません。日本の自衛

隊を前線に送り込み、アメリカ軍は後方支援くらいしかしないのは明白です。現にウクライナの安全保障の為に、ブタペスト覚書を結んだイギリスとアメリカは、静観しているだけです。今、日本は剣が峰に立たされています。中国が日本に侵攻してもアメリカは何もしないと、今回のウクライナで確証を得ました。国防は自分の国の為にだけにあるのであって、アメリカは台湾有事、尖閣有事、沖縄有事、北海道有事に動かないのは間違いありません。

いま、国難と感じ動かなければ日本は中国の自治領になることは間違いありません。しっかりとしろ！岸田文雄総理！

「放し飼いの犬・猫」対応に苦慮 動物愛護法違反を教訓に 秋田
AIN(火) 秋田テレビ

3月、秋田県藤里町で犬を劣悪な環境で飼育し虐待したとして、動物愛護法違反の罪で飼い主が逮捕される事件があった。秋田県は、保護された犬をできるだけ希望者に譲渡したいとしているが、その対応に苦慮している。

これは動物愛護の問題ではない。『責任感』、飼った動物に対して責任を持つ。すなわち教育の問題である。処罰は動物愛護法だろうけど、根幹は、道徳ではないか。 マスキ

連合艦隊、各艦の予定、活動報告

ZOZO 法人百人の会

● NPO 法人百人の会第12回総会議事録 【再掲載】

月日 令和3年12月18日 (土)

14:00~14:20

会場 サムティフエイム新大阪

議長 吉見美佐子理事 (大阪市議)

国民儀礼 国旗に「礼」、国歌斉唱、

物故者に黙祷

・理事長挨拶 辻淳子大阪市議

・定足数報告 社員総数の名、委任状 31 名。定款により定足数

(1/3) を満たしているの、「総会

は成立」を事務局長が報告

議事

議事

■ 第1号議案 令和元年度の事業報告と決算報告 満場一致で承認。

■ 第2号議案 役員選任の件 全員再任で承認された。

■ 第3号議案 令和3年度の事業計画と予算案 満場一致で承認

■ 第4号議案 令和元年度の決算満場一致で承認された。

ミニ講演 議事に引き続き

「教育のバーゲンはやめよ!

今一度考える『教育』とは

と題し、京都北山神主 中村重行氏

より講演をいただいた。とかく、功利

主義に走りがちな昨今、物の本質をど

う見なければいけないか。大事にしな

ければいけない価値は何なのか。じっくり拝聴した。

台湾人日本国籍確認訴訟支援の会

● 第1回控訴審弁論 東京高裁 1017号

期日 5月23日 15:00

大阪おばちゃんの家

● 口頭弁論の期日

期日 4月22日 15:00

会場 大阪地裁 806号

編集後記

名誉棄損裁判の顛末

事務局 増木重夫

私事、私が1年半ほど前から民事提

訴していた名誉棄損の裁判が2月14

日終結しました。結果は完勝! 形式

的には「和解」ですがほぼ請求通りの

内容でした。

ことの発端は、一昨年の1月、被告

△氏は田メルマガに「増木重夫は金持

ち主婦に擦り寄って寄付を募り、それ

を羨望に抱けると言う詐欺行為その

他で前科2犯の男と聞きます。」と投稿

したことです。事実無根は言うに及

ばず、あまりにもひどい内容なので吹

田警察署に相談。警察として本人を呼んで厳しく注意はするが、刑事立件までは難しい。ということなので、民事訴訟に踏み切ったものです。

私は当初本人訴訟 (本人訴訟は何回もやっている) で提訴しました。

ところが相手は松本藤一弁護士に事件を委任しました。それで私は、徳永信一弁護士に委任。

原告 (増木) の請求は
→ 名誉を棄損された損害金 30万円
→ 謝罪文の公開

でした。裁判所の和解案は
→ 損害金 20万円を支払え。

→ 詐欺行為など一切な証明されていないと裁判所が認定

30万の請求が20万円に減額されましたが、別に金銭目的の裁判ではないので、金額はどうでもいい。要は裁判所が被告の非を認めたことに意義があるわけです。まっ、いいか。

さらに、裁判所は「(詐欺行為の) 真実性、真実と信じた相当な理由は証明されていない」と認定しました。当たり前です。詐欺などどこんでもない言

#####

原稿・同封資料の募集、メール配信について

本紙に掲載ご希望の論文、情報等どんなメールでお送りください。また、弊紙は郵メールで発送し、重さ制限は50gです。まだ10%程度余裕がござい

ますので、資料等の同封が可能です。ご相談ください。

『M情報』では、日々、全国各地の間から情報が送られてきます。それをメルマガで転送配信します。内容はどこよりも詳しく多種多様。試しに一度受信してみませんか。要領は巻頭のアドレスに「メール希望」と空メールを (発信名義「ZOZO 法人百人の会」)。

● 弊紙は購読料は頂戴しておりませ

言い掛かりです。

そもそも、最近ネット等であまりにも無責任な投稿が多すぎる。それに警鐘を鳴らしたいという思いもありまし

た。ただ、私が一番力チンときたのは、吹田署に呼ばれ警察官に説諭され

一応私に謝罪しました。その時の様子が、「お巡りさんが謝れというから仕方なしに謝ってやったわい!」と顔に

書いてありました。ニヤニヤしながら「すいませんでした」と一言いだけ

です。誠意の微塵も感じられませんでした。この時キチット謝ればそれで済

んだ話です。それで私は、裁判をすればどうなるか、期間や結果等わかって

いました。が、民事の訴状を書きました。△氏は弁護士に事件を委任した

ことがいいていえば私の計算違いです。そして裁判が始まったのですが、

被告の主張が無茶苦茶。これはいすれお話ししたいと思います。

△氏は弁護士費用 (多分20~30万かな?) を支払い、私に20万円。かなり堪えたと思います

活動資金等協力をお願い

郵便振替 0980-8-24547 MASUKI 情報デスク
口座番号 099-024547 MASUKI 情報デスク
三菱UFJ銀行 中野支店 0044349 普通 増木重夫